



原子力産業新聞

2013年6月27日
平成25年(第2676号)
毎週木曜日発行
購読料1年分前金(消費税、国内送料込)
会費 9,500円(1部220円)
非会費 15,000円(1部350円)
(当会会費は年会費13万円に本紙購読料の9,500円を含む。1口1部)

発行所 日本原子力産業協会

〒105-8605 東京都港区虎ノ門1丁目2番8号 虎ノ門琴平タワー9階 郵便振替 00150-5-5895
電話 03(6812)7103 FAX03(6812)7110 ホームページ <http://www.jaif.or.jp/> メールアドレス shinbun@jaif.or.jp

昭和31年3月12日第三種郵便物認可

大飯3、4号機 9月までで運転継続へ

規制委・評価会合 新規制基準での判断

原子力規制委員会の関西電力大飯3、4号機II(写真)に関する評価会合は二十四日、七月から施行の新規制基準に照らし、同機は「直ちに安全上重大な問題が生じるものではない」とする現状評価書を概ね了承した。一部設備等で新基準を満たしていない点も認められた。一方、新基準で要求する地下構造の三次元的な把握の必要性を指摘した。また、耐震津波評価については、福島県による津波想定における地震の他、海底地すべりの組み合わせによる津波を基準津波として、流入防止浸水対策等、設計の評価

原子力規制委員会の関西電力大飯3、4号機II(写真)に関する評価会合は二十四日、七月から施行の新規制基準に照らし、同機は「直ちに安全上重大な問題が生じるものではない」とする現状評価書を概ね了承した。一部設備等で新基準を満たしていない点も認められた。一方、新基準で要求する地下構造の三次元的な把握の必要性を指摘した。また、耐震津波評価については、福島県による津波想定における地震の他、海底地すべりの組み合わせによる津波を基準津波として、流入防止浸水対策等、設計の評価



を行い、施設への安全性が確保されることを確認したとしている。二十四日の評価会合では、規制委による現地調査時の指摘事項に対し、電力が、津波、内部火災、

大飯3、4号機は、九月に開始が見込まれる次回定検以降、再稼働には新基準の要求事項を満たす必要があるが、規制委での審査入りに際し、現在、途上の破砕帯評価に関する一定の見解取りまとめが前提となる。

「世界最高水準を」
G8共同声明 原子力安全盛込む
G8ロック・アーン・サミット(議長国は英国)が十八日、共同コミュニケを發出し閉幕した。日本からは安倍晋三首相が出席し、主要八か国の首脳らにより、3T(貿易、税、透明性)を主要テーマとして意見が交わされた。原子力安全に関する独立した項目が設けられ、福島発電所事故を踏まえ、「世界中で最高水準の原子力安全を達成および維持する」ための国際協力の重要性をうたつた。

「極めて小さいレベル」に

食品中のセシウム 全国15地域の調査

厚生労働省は二十一日、全国十五地域で流通する食品中の放射性セシウムから受ける放射線量は、福島県中道地方で〇・〇〇三八mSv/年となり、前回の〇・〇〇六六mSv/年、前々回の〇・〇一九mSv/年よりも減少していた。その他の地域も、〇・〇〇〇九〇〇五七mSv/年、年間上限線量値を大きく下回っている。また、放射性カリウムから受ける放射線量は、大きな変化は認められなかった。

総合エネ調など
3審議会を改編
経済産業省は、産業構造審議会、総合資源エネルギー調査会、中小企業政策審議会の三審議会について組織を改編する。これまで計百九十四あった会議体を百五に絞り込むなど、組織をスリム化し、政策分野ごとの分科会に再編することにした。これによってテーマを明確にし、政策課題を集

電力システム改革法案は廃案に
通商国会が会期末
今国会に提出されていた電力システム改革を盛り込んだ電気事業法の改正案が二十六日の会期末になっても採決に至らず廃案となった。

不断の努力で安全対策に万全
電事連会長が会見
電気事業連合会は十九日、この日に原子力規制委員会が原子力発電所に

原産協会が事務局の組織変更
七月一日から
原産協会は七月一日付で、事務局内組織の改編を行う。「企画総務部」、「政策・コミュニケーション

原産協会が事務局の組織変更
七月一日から
原産協会は七月一日付で、事務局内組織の改編を行う。「企画総務部」、「政策・コミュニケーション

ITER理事会開く
スケジュール等確認 建設段階に移行
ITER理事会は十九日、都内で開かれ、二〇年の運転開始、二七年の核融合反応達成を目指す。今回理事会は、計画は完全な建設段階に移行している。ITERは現時点、二〇年の運転開始、二七年の核融合反応達成を目指す。今回理事会は、計画は完全な建設段階に移行している。

この一週間の出来事

- 〈20日(木)～26日(水)〉
- ・原産、放射線に関する授業実践で報告会(22日)
- ・福島県健康調査で1万件超の誤算判明(25日)
- ・電力各社、株主総会開催(26日)

原産新聞の紙面から

- ◇国内ニュース
- ・原産協会定時社員総会が開催(2面)
- ・電中研が30年までのエネ見通しまとめ(2面)
- ・科学技術白書が公表(2面)
- ・グラフで見る地層処分広報活動の効果(4面)
- ◇海外ニュース
- ・米規制委、燃料プールの地震影響調査(3面)
- ・露が鉛ビスマス高速原型炉を建設へ(3面)
- ・重工が米の2原発でSCC予防サービス(3面)

安藤ハザマ

私たちは卓越した設計技術と施行技術で
安心・安全に貢献します

最先端のがん治療施設

【設計・施工】南東北がん陽子線治療センター

【施工】宮城県がん粒子線治療研究センター

【施工】北海道大学医学部陽子線治療研究センター

【設計・施工中】(仮)南東北BNCT研究センター

人と技術で、未来に挑む。

株式会社 安藤・間
東京都港区赤坂六丁目1番20号 TEL 03-6234-3600(代表)
<http://www.ad-hzm.co.jp/>